

2019年3月通期決算説明会

A decorative graphic consisting of a grid of light grey squares of varying sizes, arranged in a pattern that tapers to the right.

2019年5月29日

IDEC株式会社

証券コード:6652

1. ご挨拶

代表取締役執行役員会長兼社長 船木 俊之

2. 2019年3月期 通期決算説明

執行役員 経営管理担当 西山 嘉彦

3. IDECグループの事業方針

常務執行役員 セールス・マーケティング担当

Arnaud Mondy

長期ビジョン

長年培ってきた制御技術・新技術への挑戦を通じて、
企業の発展に貢献し、グローバルな社会経済発展に寄与

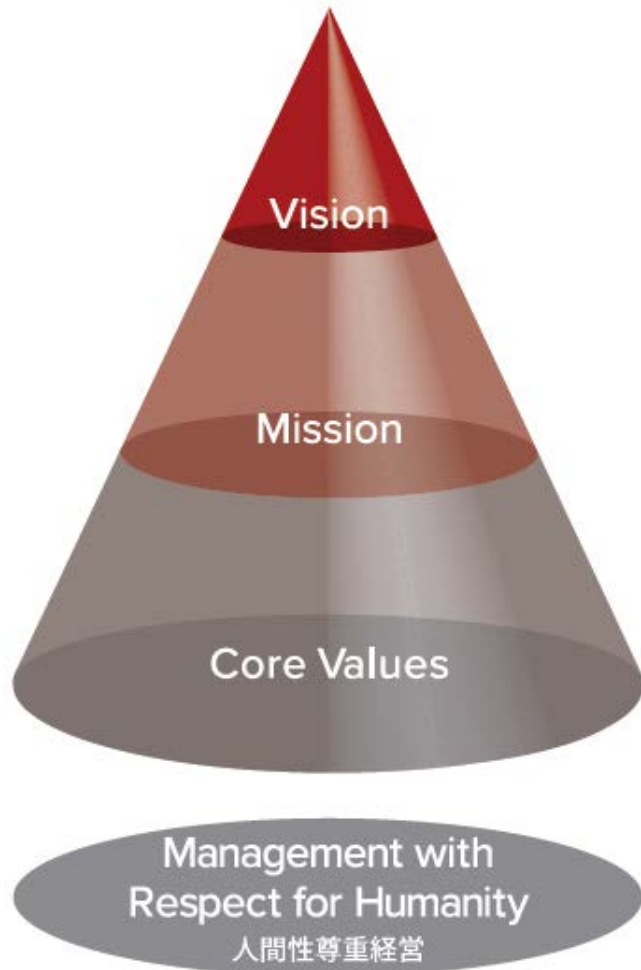
- HMI (Human-Machine Interface) のグローバルNo.1カンパニーへ
- 世界一安全・安心を追究・実現する企業に
- 社会的課題に対応する新規事業の推進

2020年3月期の取り組み

収益性を高めていくための取り組みを優先・加速し
収益性体質に変革することで、企業価値の向上を図る

- 製品の採算性向上
- コストの削減
- 事業再編

The IDEC Way



Vision

私たちが目指す未来

Pioneer the new norm for a safer and sustainable world.

いつも、ずっと、みんなに新しい安心を

Mission

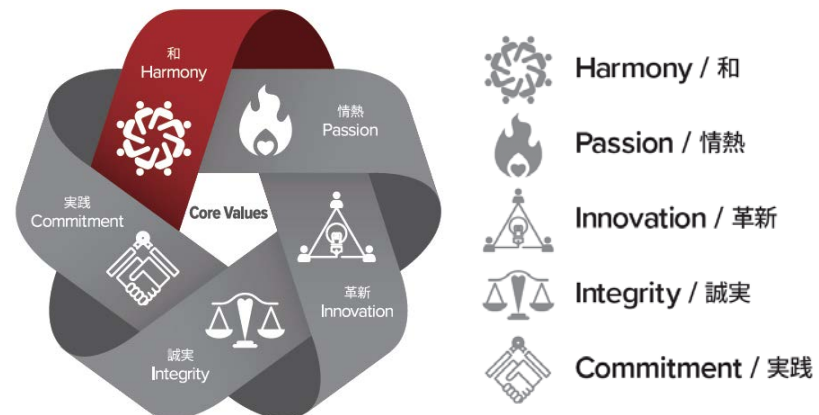
私たちの存在意義・使命

To create the optimum environment for humans and machines.

人と機械の最適環境を創造

Core Values

私たちが共有すべき価値観



持続的な成長に向けたESGの取り組み



- CO²排出量の削減
- 社員向け環境教育・啓発活動の推進



- 災害支援
- 健康への取り組み
(ホワイト500の認定取得)



2019
健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500



- 監査等委員会設置会社としてガバナンスを強化
(取締役10名の内、7名が社外取締役)



- 労働安全衛生マネジメントシステムISO45001の取得
- セーフティアセッサ、ロボット・セーフティアセッサ資格者の育成



- グローバル品質会議の実施などによる体制の強化



CSR委員会



SDGs

2019年3月期 通期
(2018年4月1日～2019年3月31日)
決算ご説明資料

買収効果もあり売上は増加したものの、事業環境の変化に伴い事業再編を加速したことなどから減益

売上

■ 売上高 628億円 (前期比 +5.0%)

- 米中貿易摩擦の影響などにより下半期から市場環境が変化したものの、全地域において売上高は前期を上回った
- APEMやウェルキャット、東京センサなどの業績が寄与

利益

■ 営業利益 57億円 (前期比 △ 6.3%)

■ 経常利益 58億円 (前期比 △ 9.8%)

■ 親会社株主に帰属する当期純利益 37億円 (前期比 △30.1%)

■ 自己資本利益率(ROE) 8.2%

- 新規連結にともない販売管理費が増加したことに加え、下半期以降の厳しい市場環境を踏まえて国内外の事業再編を加速し、特別損失を計上したことなどから、利益は前期比で減益

配当

■ 1株当たり年間配当金 50円 (前期 50円)

連結業績概要<連結損益計算書>-1

2019年3月期 通期 業績概要

(単位:百万円)	19.3月期 通期			18.3月期 通期	
	実績	対売上比	前期比	実績	対売上比
売上高	62,757	100.0%	+ 5.0%	59,783	100.0%
売上総利益	26,973	43.0%	+ 3.7%	26,022	43.5%
販売費及び一般管理費	21,244	33.9%	+ 6.7%	19,909	33.3%
営業利益	5,728	9.1%	△ 6.3%	6,112	10.2%
経常利益	5,849	9.3%	△ 9.8%	6,484	10.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,700	5.9%	△30.1%	5,296	8.9%
1株当たり当期純利益 (潜在株式調整前)	112.53円	—	△57.84円	170.37円	—
USDレート (円)	110.93円		+0.07円	110.86円	—
EURレート (円)	128.44円		△1.22円	129.66円	—

連結業績概要<連結損益計算書>-2

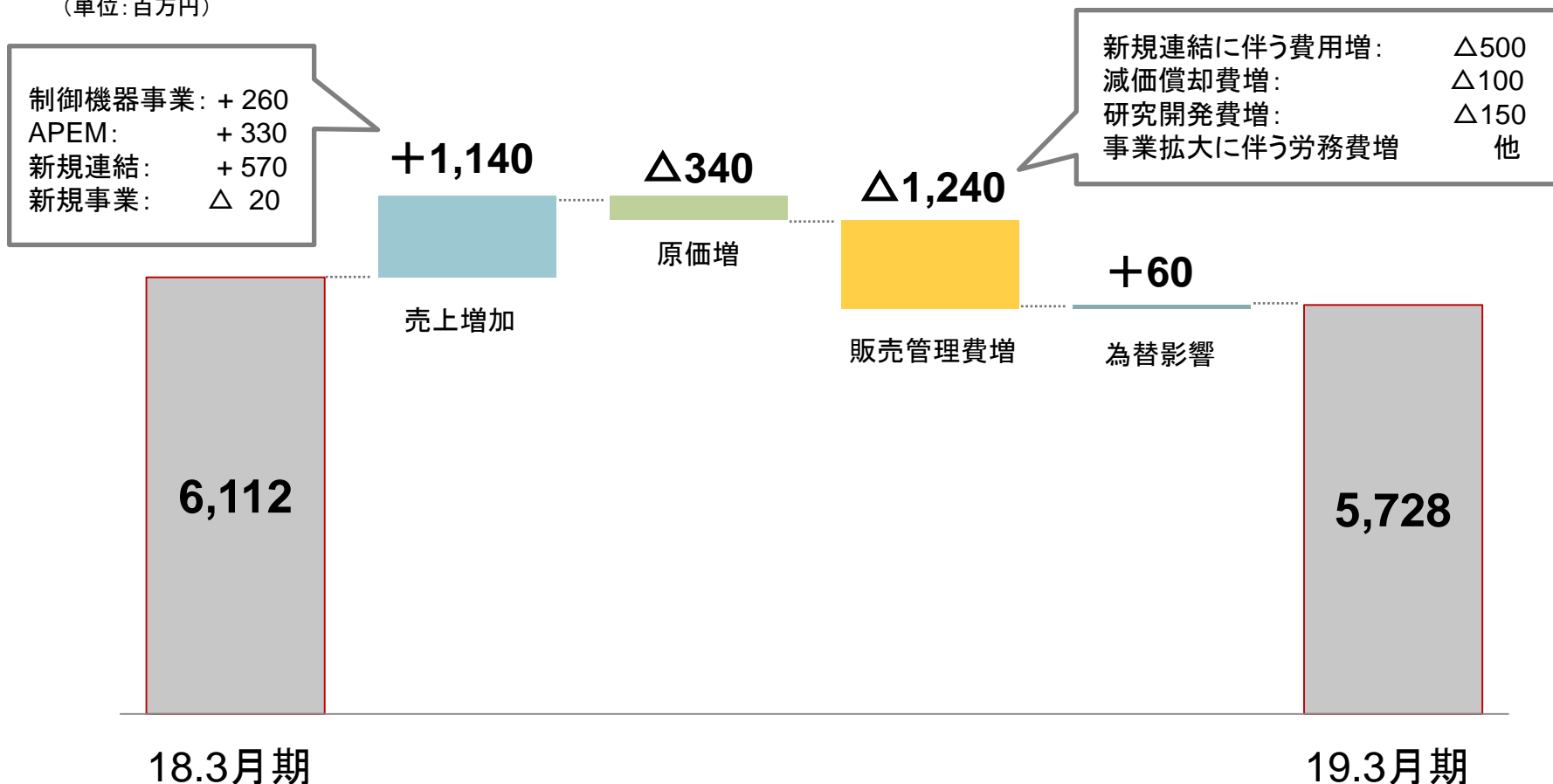
四半期別 業績概要

(単位:百万円)	18.3月期				19.3月期							
	4Q(1月~3月)		1Q(4月~6月)		2Q(7月~9月)		3Q(10月~12月)		4Q(1月~3月)			
	実績	対売上比	実績	対売上比	実績	対売上比	実績	対売上比	実績	対売上比	前年同期比	
売上高	15,202	100.0%	15,493	100.0%	16,358	100.0%	15,730	100.0%	15,174	100.0%	△0.2%	
売上総利益	6,535	43.0%	6,882	44.4%	7,009	42.9%	6,691	42.5%	6,389	42.1%	△2.2%	
販売費及び一般管理費	5,190	34.1%	5,307	34.3%	5,290	32.3%	5,153	32.8%	5,492	36.2%	+5.8%	
営業利益	1,344	8.9%	1,575	10.2%	1,718	10.5%	1,538	9.8%	896	5.9%	△33.3%	
経常利益	1,290	8.5%	1,604	10.4%	1,820	11.1%	1,479	9.4%	945	6.2%	△26.8%	
親会社株主に帰属する四半期純利益	984	6.5%	1,443	9.3%	954	5.8%	923	5.9%	379	2.5%	△61.5%	
1株当たり 四半期純利益 (潜在株式調整前)	29.97円		43.95円		29.02円		28.07円		11.53円			

連結営業損益変動要因

増収効果による収益増の一方、原材料価格や人件費の高騰などによる原価の増加や、品質改善・事業拡大に向けた設備投資や拠点再編、買収に伴う販売管理費増加などの影響により前期比で約3.8億円減少

(単位:百万円)



連結特別損益の状況

国内外の事業再編に伴う固定資産売却益の計上により特別利益を約7億円計上した一方、パワーコンディショナ事業再編や、筑波事業所の閉鎖に伴う事業整理損を、特別損失として約11億円計上

(単位:百万円)		19.3月期	18.3月期
経常利益		5,849	6,484
特別利益	固定資産売却益	676	22
	投資有価証券売却益	0	777
	その他	1	1
	小計	678	801
特別損失	事業整理損	1,086	—
	その他	21	45
	小計	1,107	45
税金等調整前当期純利益		5,420	7,240
親会社株主に帰属する当期純利益		3,700	5,296

2019年3月期 連結貸借対照表概要

資産のポイント

- 現金及び預金などが増加した一方、売上債権や無形固定資産が減少したことなどにより、総資産は前期末比約25億円減少

負債のポイント

- 前受金が増加したものの、支払債務の減少や、借入金の返済などにより、負債は前期末比約27.5億円減少

純資産のポイント

- 為替換算調整勘定が減少した一方、利益剰余金が増加したことなどにより、純資産は前期末比約2.5億円増加

(単位:百万円)

科目	19.3月期 (当会計年度)	18.3月期 (前会計年度)	前会計年度末比 増減
流動資産	38,870	39,873	△1,002
固定資産	50,162	51,657	△1,495
流動負債	22,804	26,953	△4,148
固定負債	20,684	19,284	+1,399
純資産	45,544	45,292	+ 251
総資産	89,032	91,530	△2,497
自己資本比率	51.1%	49.2%	+ 1.9%

2019年3月期 連結キャッシュ・フロー計算書概要

営業活動によるCF

- 仕入債務の減少に加え、法人税等を納付した一方、売上債権の減少や当期純利益の計上などにより、約61.1億円となった

投資活動によるCF

- 主に、国内外の事業所再編による固定資産の売却や取得に加え、子会社株式の取得などにより、約△26.6億円となった

財務活動によるCF

- 主に、配当金の支払いや、短期及び長期借入金の返済などにより、約△28.7億円となった

(単位:百万円)

	19.3月期	18.3月期	前期比増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,119	4,926	+1,193
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,665	△ 858	△1,806
フリー・キャッシュ・フロー(FCF)	3,543	4,067	△ 613
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,878	△3,926	+1,048
現金及び現金同等物の期末残高	12,868	12,341	+ 527
設備投資額	4,122	1,991	+2,130
減価償却費	2,701	2,398	+ 302

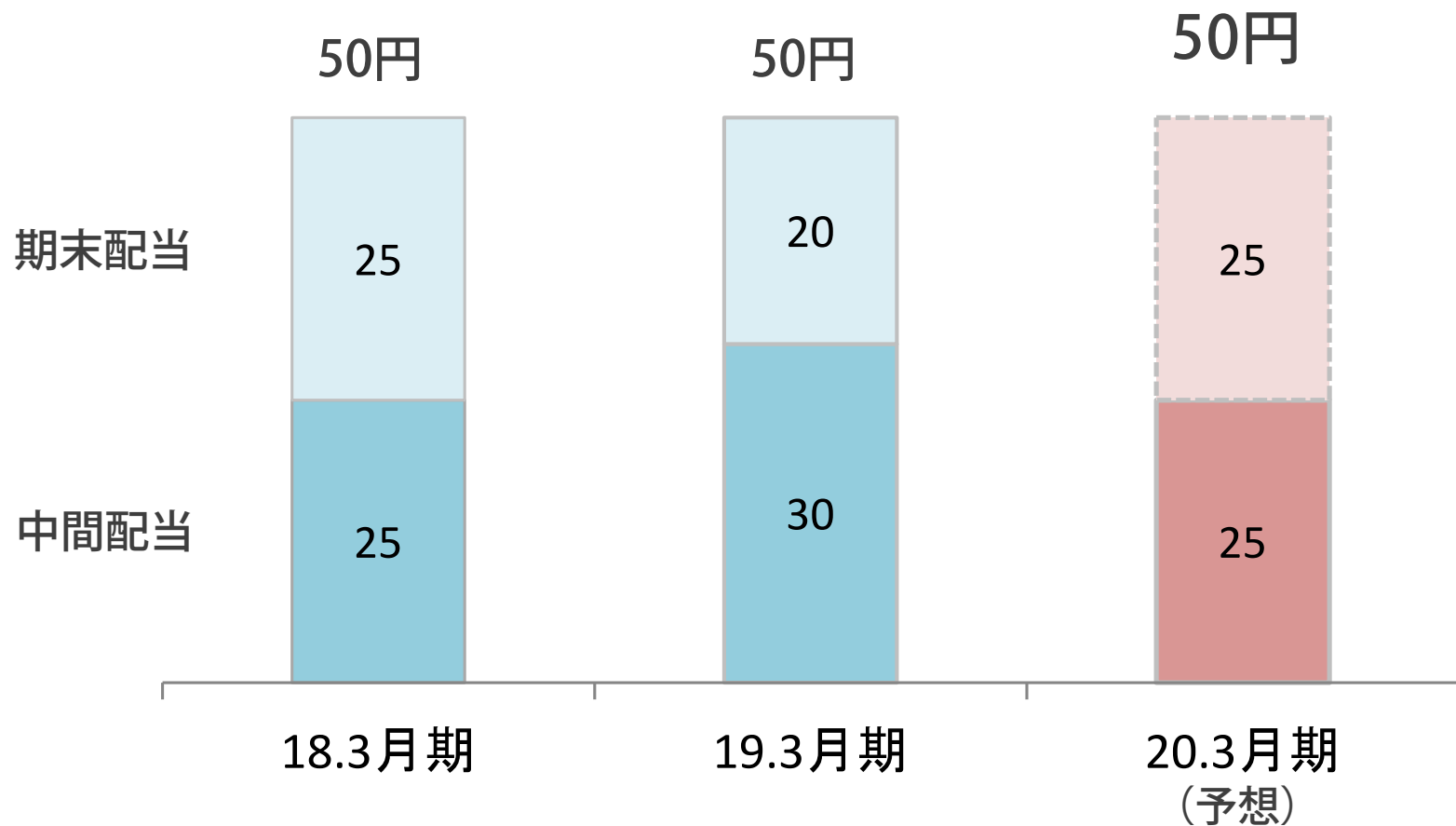
2020年3月期 連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日)

2020年3月期 連結業績予想



(単位:百万円)	20.3月期 予想 (日本基準)			19.3月期 (日本基準)		20.3月期 予想 (IFRS概算)	
	予想	対売上比	前期比	実績	対売上比	予想	対売上比
売上高	60,000	100.0%	△ 4.4%	62,757	100.0%	60,000	100.0%
売上総利益	26,600	44.3%	△ 1.4%	26,973	43.0%	26,600	44.3%
販売費及び一般管理費	20,600	34.3%	△ 3.0%	21,244	33.9%	19,800	33.3%
営業利益	6,000	10.0%	+ 4.7%	5,728	9.1%	6,800	11.3%
経常利益	6,000	10.0%	+ 2.6%	5,849	9.3%	6,800	11.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,800	6.3%	+ 2.7%	3,700	5.9%	4,600	7.7%
1株当たり当期純利益 (潜在株式調整前)	115.49円	+2.96円	—	112.53円	—	139.81円	—
EBITDA	9,700	16.2%	+ 2.3%	9,485	14.5%	9,700	16.2%
USDレート (円)	110.00円			110.93円		—	
EURレート (円)	125.00円			128.44円		—	

1株当たり年間配当金は**50円**、配当性向は43.3%
(前期は44.4%) を予想。



IDECグループの事業方針

長期ビジョン

長年培ってきた制御技術・新技術への挑戦を通じて、
企業の発展に貢献し、グローバルな社会経済発展に寄与

2022年度までの目標 真のグローバル企業への変革

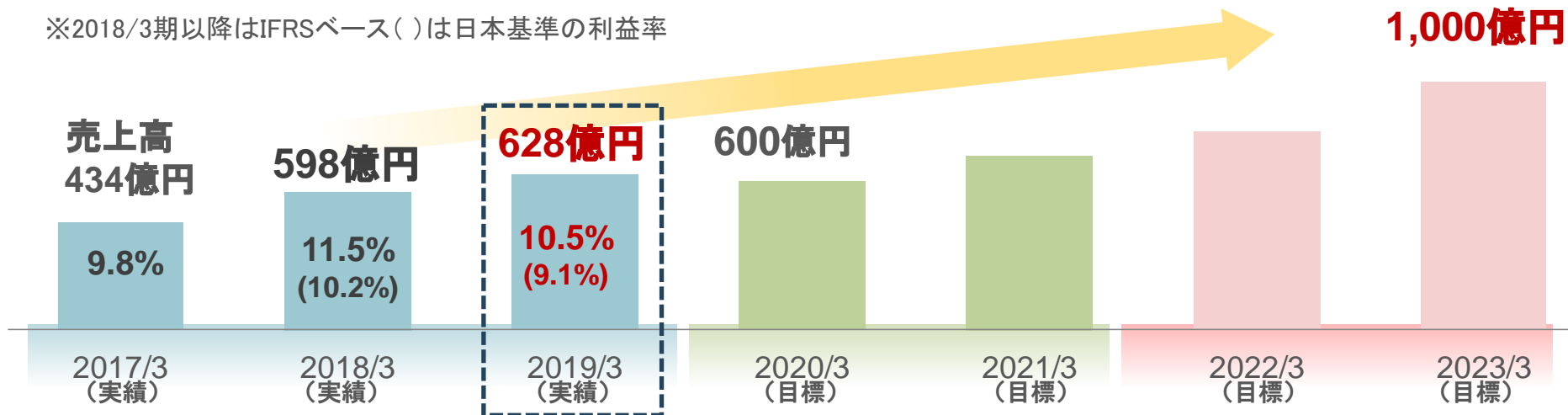
- HMI(Human-Machine Interface)の
グローバルNo.1カンパニーへ
- 世界一安全・安心を追求・実現する
企業に
- 社会的課題に対応する新規事業の
推進

■ 長期目標

- 売上高 **1,000**億円
- 海外売上比率 **60%**以上
- 営業利益率 **15%**以上
- EBITDA **20%**以上

2019年3月期の実績

※2018/3期以降はIFRSベース()は日本基準の利益率



- 売上高は全ての地域で前期を上回る成長を実現
- APEMグループやウェルキャット、東京センサなどの業績が寄与したことに加え、注力事業である安全関連機器やオートメーションソリューション製品が伸長
- 売上は増加したものの、事業環境の変化に伴い事業再編を加速したことなどから減益
 - 売上高 628億円 (前期比+5.0%)
 - 海外売上高比率 53.2% (前期比+0.3ポイント)
 - 営業利益率(IFRS) 10.5% (前期比△1.0ポイント)
 - 営業利益率(日本基準) 9.1% (前期比△1.1ポイント)

成長戦略

売上高628億円（前期比+5.0%）

- APEM / ウェルキャット / 東京センサ買収による売上増 +26億円
- 各地域において既存IDECのほぼ全ての事業が伸長
- 海外売上高の伸長率 + 5.6%

収益性の向上

営業利益率9.1%（前期比△1.1ポイント）

- 制御機器事業の利益率 12.3%（前期比△1.2ポイント）
- 品目削減 △ 13%（△2万品目）
- 国内外における生産体制の見直し

人財戦略

- 「IDECが求める人財像」（チャレンジ精神・チームワーク・自己研鑽）の浸透・実践を通じたグループマネジメントの確立
- グローバル人財マネジメント体制の強化（グループ経営人財の戦略的確保・育成）
- ライフワークバランスの浸透（健康経営の実現、年休取得率の向上）

地域別売上状況

単位: 百万円
(構成比)

	19.3月期	18.3月期	前期比
日本	29,373 (46.8%)	28,158 (47.1%)	+ 4.3%
海外	33,383 (53.2%)	31,625 (52.9%)	+ 5.6%
米州	9,909 (15.8%)	9,265 (15.5%)	+ 7.0%
EMEA (欧州、中東、アフリカ)	11,011 (17.5%)	9,999 (16.7%)	+10.1%
アジア・ パシフィック	12,462 (19.9%)	12,360 (20.7%)	+ 0.8%
合計	62,757 (100.0%)	59,783 (100.0%)	+ 5.0%

日本 前期比 + 4.3%

- オートメーションソリューション製品や安全・防爆ソリューション製品などの売上が堅調に推移
- グループ会社である、ウェルキャットや東京センサの売上が寄与

※東京センサは2019年4月にIDECに吸収合併

海外 前期比 + 5.6%

- 欧州を中心にAPEMの売上が伸長し、HMIソリューション製品が堅調に推移
- 米州では、プログラマブルコントローラやプログラマブル表示器が伸長
- アジア・パシフィックでは、中国の成長鈍化による影響があったものの、安全関連機器や制御用リレーなどが伸長

製品別売上状況

単位:百万円
(構成比)

	19.3月期	18.3月期	前期比
HMIソリューション	29,685 (47.3%)	28,212 (47.2%)	+ 5.2%
盤内機器ソリューション	11,444 (18.2%)	11,324 (19.0%)	+ 1.1%
オートメーションソリューション	8,755 (14.0%)	8,184 (13.7%)	+ 7.0%
安全・防爆ソリューション	6,934 (11.1%)	6,359 (10.6%)	+ 9.0%
システム	3,276 (5.2%)	2,935 (4.9%)	+11.6%
その他	2,661 (4.2%)	2,767 (4.6%)	△ 3.8%
合計	62,757 (100.0%)	59,783 (100.0%)	+ 5.0%

HMIソリューション

APEM製品が伸長し、操作スイッチが好調に推移
欧州市場におけるIDEC製品大幅売上増

盤内機器ソリューション

制御用リレーなどの売上が伸長

オートメーションソリューション

ウェルキャットの自動認識機器の売上が2017年10月より寄与したことに加え、プログラマブルコントローラやプログラマブル表示器の売上も堅調に推移

安全・防爆ソリューション

東京センサの売上が2018年7月より寄与したことに加え、防爆関連機器も伸長
中国、米国、欧州における安全製品は二桁成長

システム

半導体・液晶製造装置用の制御盤に加え、多様な業界向けのシステム製品が好調に推移

その他

環境事業、協調安全ロボットシステムなどの新規事業が堅調に推移したものの、生産会社の外販等が減少したことにより総額としては減少

2020年3月期 連結業績予想

外部要因

- 2019年3月期下期に続き、事業環境は不透明感が継続
- 中国や日本については底打ちしたものの、米中貿易摩擦の影響はまだ不透明
欧州はスローダウンしているとともに、英国のブレグジットの影響によるリスクが残り、米州は底堅く推移
- 上記を踏まえ、外部環境によるマイナスを前提として自社のアクションによる成長を見込む

2020年3月期の連結売上高 600億円（前期比△ 4.4%）

■ 制御機器事業 575億円（前期比△ 4.3%）

■ 新規事業他 25億円（前期比△ 6.1%）

営業利益率 10%（前期比+0.9ポイント）

■ 制御機器事業 13.5%（前期比 + 1.2ポイント）

2020年3月期の取り組み方針

2020年3月期は、**収益性**を高めていくための取り組みを優先・加速
収益性体質に変革することで、企業価値の向上を図る

製品の採算性向上

- 製品価格の改定
(材料費・労務費値上分の製品価格への反映)
- 不採算品の見直し
(特殊品・少量販売品)

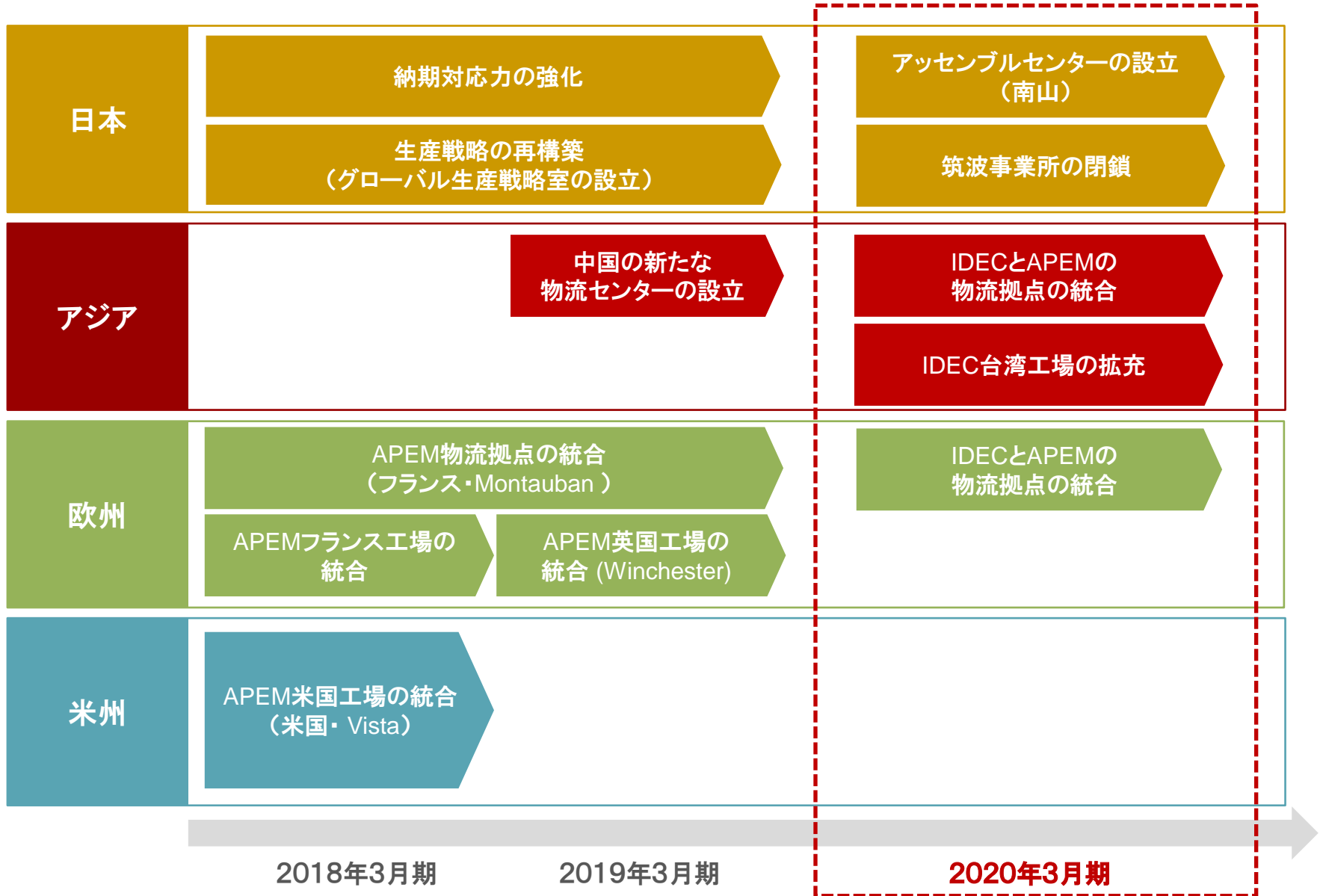
コストの削減

- 製造コストダウン
(自動化・省力化など)
- 販管費の削減・見直し
- 生産拠点の再編

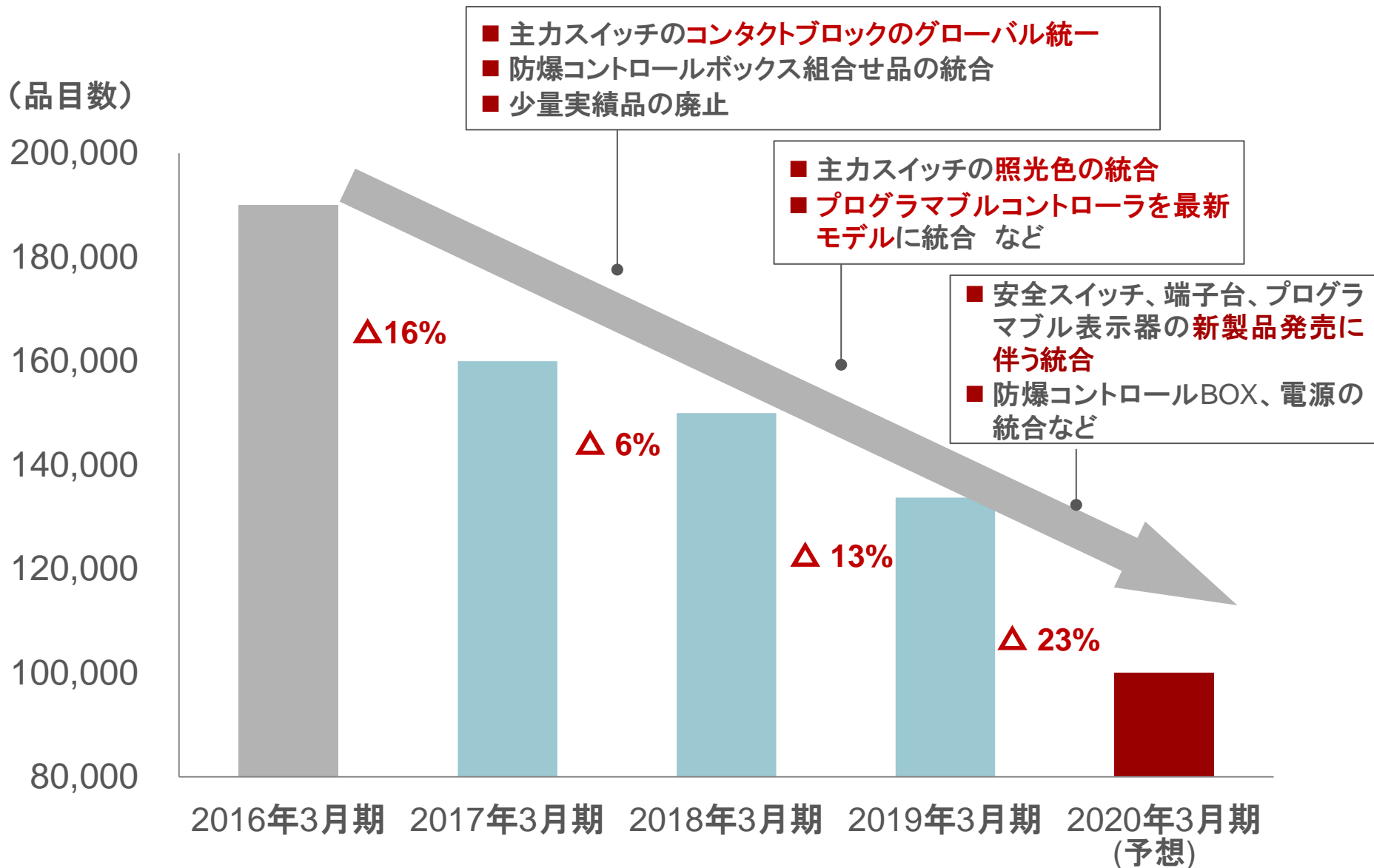
事業再編

- 不採算事業の撤退
- 新規事業の構造改革
- M&A後のシナジーの創出(ウェルキャット、APEM、東京センサ)

生産・物流体制の見直し



品目削減（19万品目→10万品目）



HMIソリューション

HMIのグローバルNo.1カンパニーへ

- マーケットシェアの拡大
- 製品の合理化推進(コンポーネントの統合・標準化)
- HMI製品のイノベーションによる業界リード
- APEMとのシナジー創出



盤内機器ソリューション

盤内革命！

- 盤内製品のポートフォリオ見直しと拡充
- 配線の合理化・効率化を実現する高付加価値製品の発売
- 日本におけるプッシュイン製品技術の採用促進
- ワイドミューラーとのパートナーシップ
拡大



安全・防爆ソリューション

世界一安全・安心を追及する企業へ

- 安全ポートフォリオの拡充
- 大手エンドユーザーとの協業による新しい安全・安心環境の社会形成
- 東京センサの吸収合併による安全安心機器の国内外拡販
- コンサルタントビジネスの推進



オートメーションソリューション

IoTで見える安心、つながる安心を追求！

- 新製品拡販による売上拡大、利益改善
- 機器販売からソリューション販売への転換
- 業界に特化した製品強化
- 高機能製品の営業力UP
- グローバル組織体制構築



ロボットソリューション

- 協働安全ロボットテクニカルセンター拡充と取扱い製品の拡充を図る
- 自動車業界への協働ロボットシステム導入強化
- パッケージシステムの強化と、AI・モーションプランニングなどを活用した「Easy to Use」を実現するアプリケーション開発



環境・エネルギーソリューション

- 自家消費ソーラー発電の事業拡大による脱FIT
- エネマネによる省エネ、最適環境制御事業の強化
- 企業向けESG、SDGs対応支援（再エネによる脱炭素ソリューションビジネスを展開）



アグリソリューション

- 特徴ある「農業のインダストリー化」支援機器やプラント並びにサービスの提供。
- 農業トータルソリューションビジネス（栽培設備・栽培支援・販売先紹介をパッケージ化）の展開
- パートナー連携による新商材の販売強化



ファインバブルソリューション

- 特定機械装置等へのビルトインモデルによる、継続したOEM型ビジネス基盤の構築
- アプリケーション特化型専用機の提供
- セールスパートナーシップ拡充による販売力増強



米州

- ソリューション強化によるオートメーションと安全関連機器の売上拡大
- IDECとAPEM社のシナジー強化による顧客基盤の拡大とHMI製品の拡販推進
- デジタルマーケティングによる商談生成の最適化を推進
- 注力業界へのソリューション販売によるプレゼンスの最大化

EMEA(欧州、中東、アフリカ)

- 多岐にわたるAPEM販売チャネルを活用したスイッチ等制御機器製品の拡販
- 安全関連製品を核としたIDEC製品全体の成長戦略の構築
- 展示会やデジタルマーケティングによるIDECブランドのさらなる強化
- パーティカル戦略に基づくOEM開拓への注力
- 代理店販売網の有効活用とチャネル増強によるIDEC製品の販売最大化

日本

- Push-in端子搭載機器の市場浸透による盤内革命の推進
- Safety2.0の推進による安全・安心ビジネスの強化
- 販売チャネルを活かしたHMI製品、APEM、盤内機器製品の販売拡大
- 注力業界へのフォーカス
- 特定アプリケーション向けの革新的なIoTソリューションの提案

中国・台湾・香港

- 中国製造2025で対象となる注力業界へのソリューション提案
- 中国市場に特化した新製品の投入
- チャンネル制度の一新とチャンネルパートナーとの連携強化
- 全国機械安全標準化技術委員会との協調、安全ニーズへの対応力強化
- 技術サポートの強化による顧客サービスの充実

アジア・パシフィック

- インドやインドネシアなど地理的プレゼンスの拡大
- 自動車、工作機械など注力業界に特化した営業戦略の推進
- チャンネルパートナーとの連携強化
- テクニカルサポートと現地スタッフの教育強化
- APAC地域内オペレーションの最適化

● IDECグループの拠点

ワイドミュラー社とのパートナーシップと Push-in対応製品の発売

- 世界で初めて工業用端子台を発売したリーディングカンパニーである、ドイツのワイドミュラー社と2019年3月にパートナーシップ契約を締結
- 2019年7月からワイドミュラー社のDINレール端子台の日本独占販売を開始
- 今後は、ワイドミュラー社の高い技術を活かした各種製品の開発や、技術交流による共同開発なども含めた戦略的パートナーシップを推進

IDECとワイドミュラー社の強み

IDEC	ワイドミュラー
<ul style="list-style-type: none">• 日本におけるブランド力• 数多くのトップ製品• 充実の販売網	<ul style="list-style-type: none">• 端子台の豊富な品揃え• ばね式接続技術• グローバルでの接続機器の実績

Innovation by



Step 1

- ・Push-in式スイッチ発売
- ・新製品の共同開発
- ・ワイドミュラー端子台の国内独占販売

Step 2

- ・その他の製品展開
- ・販売地域拡大
- ・相互製品補完や共同開発など多方向への展開

■ 製造業では「省スペース」「配線工数の削減」「メンテナンスの効率化」などのニーズに応えるPush-in方式



■ ドライバー作業で配線

- ねじを緩める
- 電線を差し込む
- ねじを締める

Plus 様々な工程で増し締めを行う



■ ツールを使用して配線

- ツールでスプリングを解放
- 電線を差し込む
- ツールを引き抜く



■ 押し込むだけで配線

- 配線工数を約 **55%** 短縮
- スペースを約 **50%** 削減

1960年代

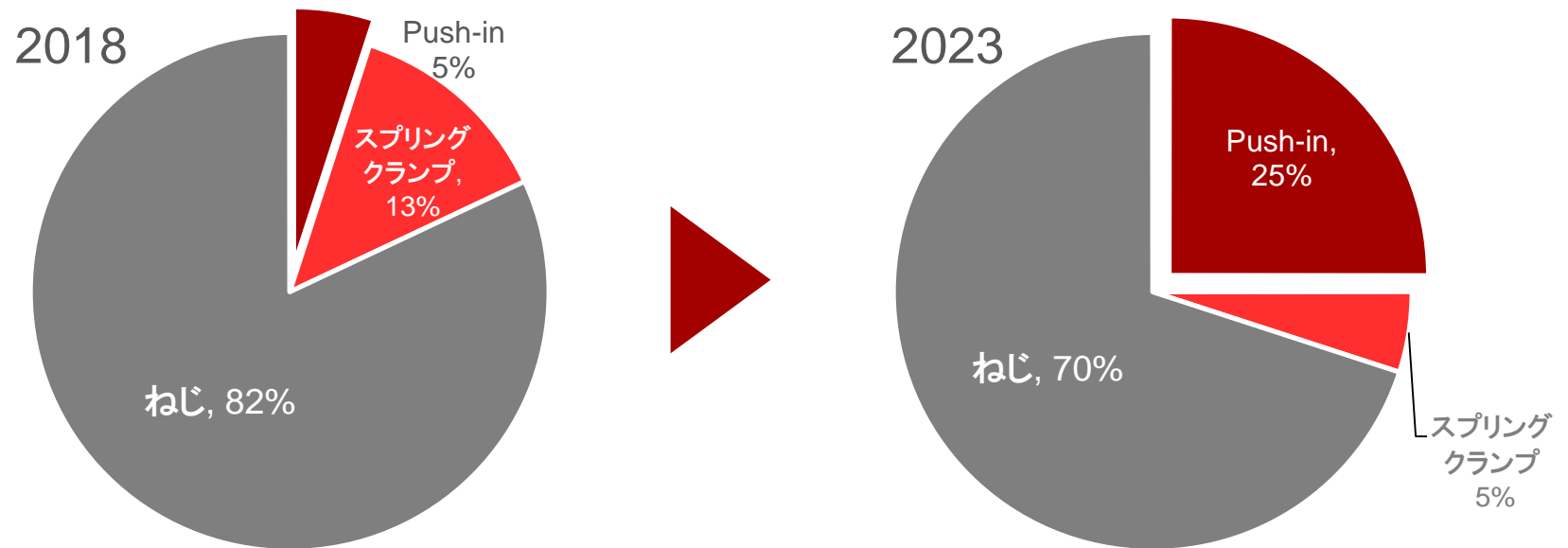
ねじ式の端子台

1970年代

スプリングクランプ式

2010年代
スプリング式の進化形
Push-in式

スプリング式の中でも進化系Push-in式の普及が進む



■ 今後5年でPush-in は5倍に拡大

- 働き手不足(組立、保守工数削減)
- 装置の小型化 / 高性能化
- 約6割のユーザが導入済み又は検討中

盤用主要製品の日本シェアと Push-in化製品のラインアップ

サーキット
プロテクタ



15%

Push-in化

非常停止用
スイッチ



60%

Push-in化

スイッチ
表示灯



50%

Push-in化

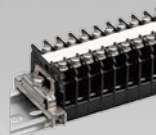
安全リレー
モジュール



10%

Push-in化

端子台



26%

Push-in化

電源



Push-in化

リレー



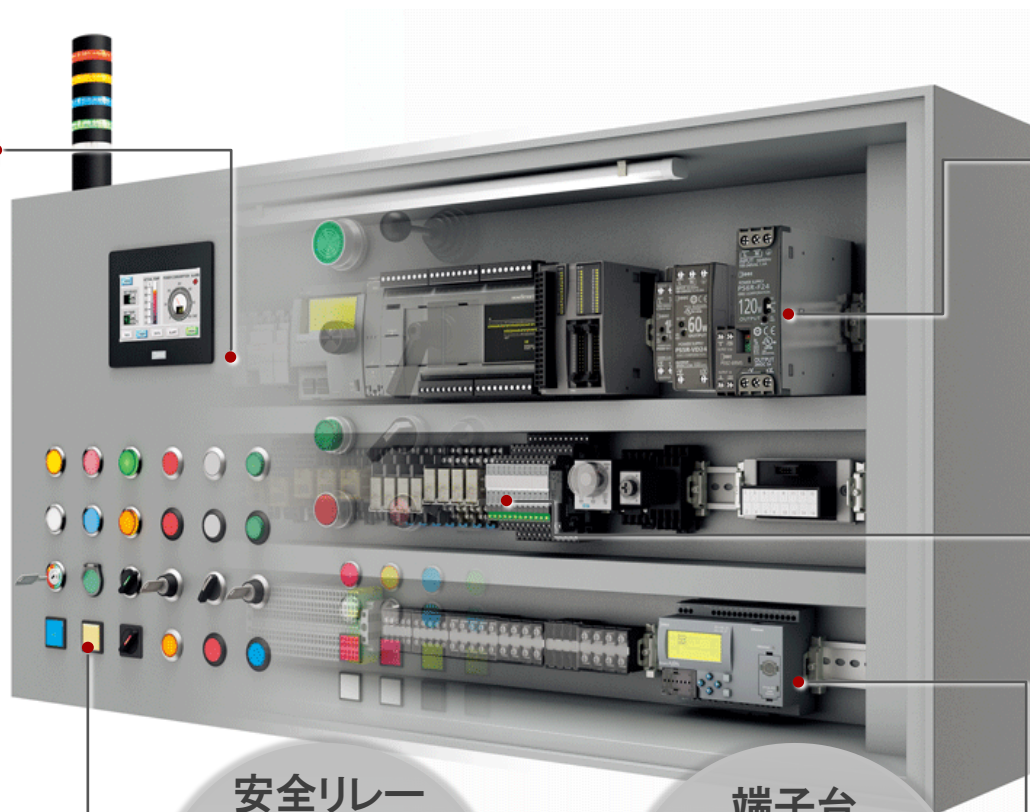
10%

Push-in化

PLC





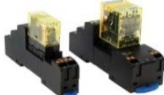




Push-in化



■ 2023年にAll Push-in 製品で30億円

- ・ 周辺ツールのサブスクリプションサービスを含めた総合サポート体制を提供
- ・ タイムリな販売部門のトレーニングと販促資料を提供

	2019年7月発売開始	順次展開	売上目標 30億円		
盤前面 10,000品目以上	 HWシリーズ	 CW/YWシリーズ			
盤内部 3,000品目以上	 プログラマブル コントローラ	 安全リレー モジュール		 リレー ソケット	 サーキット プロテクタ
盤端子部 5,000品目以上	 ワイドミューラー社 Klipponシリーズ				

安全・安心事業

IDECの安全安心事業推進活動：4次元戦略

様々な業界TOPエンドユーザーとの協業による
技術開発

- ◆協働ロボットシステム共同開発
- ◆革新的な製品開発
- ◆実証実験
IDEC南山工場での
Safety2.0実装計画

ロボットセーフティアセッサ資格づくり

- ◆資格合格者約**100人**
(全体の1/3以上)



◆Vision Zero 啓発人材育成



Technology **H**uman
技術開発 人財育成

ルール形成 認証 マネジメント
IDEC

Standards **M**anagement

国際標準創成関係機関への
はたらきかけ

- ◆要員認証制度のIEC/IECEE
国際標準化
- ◆協調安全のIECガイドへの新
規提案(ISO/IEC Guide 51)

IGSAPの立ち上げ



ISSA(国際社会保障協会)
との関係構築



- ◆VISION ZERO推進
Safety Health Wellbeing
参加企業に登録.....**日本初!**
推進部署を設置.....**日本初!**

- ◆**ISO 45001** 認証取得.....**日本で4番目!**
(電機業界で初!)



IDECファクトリーソリューションズの 協調安全ロボットシステム事業



ロボット制御技術

ロボット※

※ロボットはシステムの一部であり、システム化が重要です

取扱メーカー



周辺装置構築技術

ロボットハンド ビジョンセンサ
プログラム エンドエフェクタ

取扱メーカー



安全技術

リスクアセスメント 安全コンサルティング
シミュレーションソフト

取扱メーカー



- 協調安全ロボットシステムの受注件数 : 2019年3月期 86件
- 2020年3月期売上計画 : 4億円 (前期比 2倍)

買収によるシナジーの創出

東京センサ

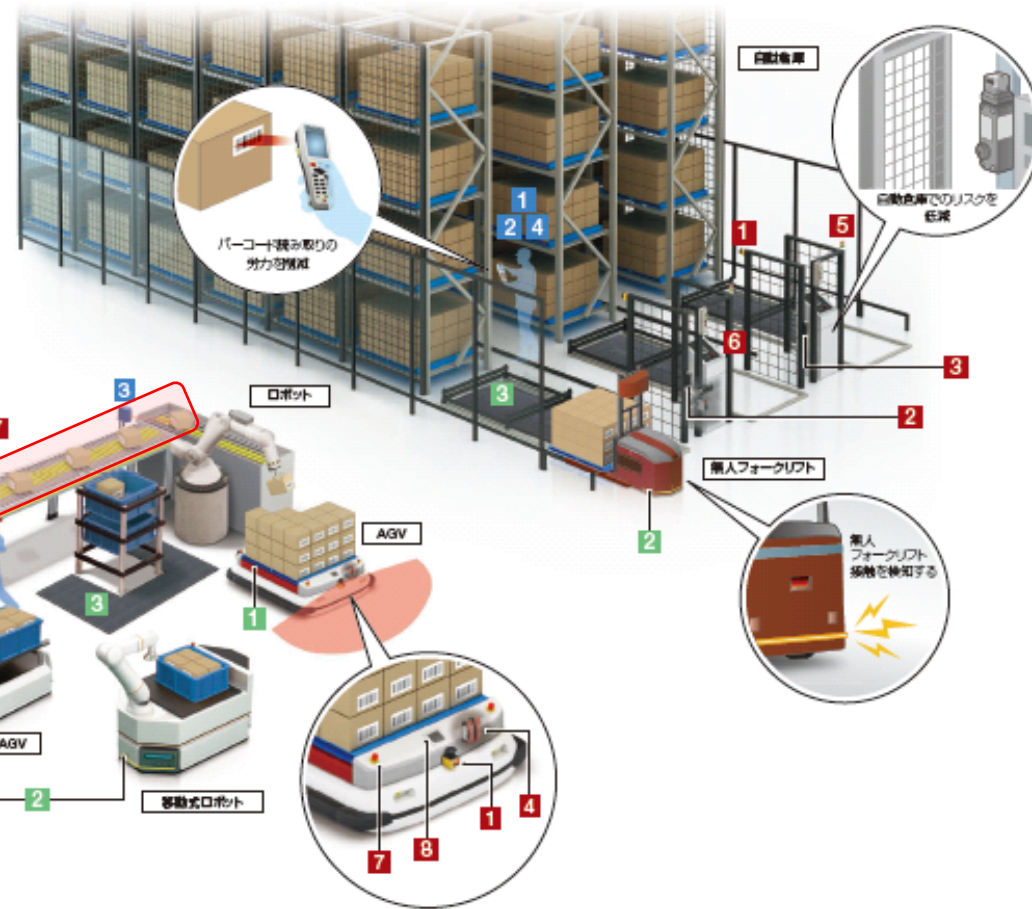
- 2019年4月より東京センサ吸収合併
- 安全規格の取得により工作機械向けソリューション提供、世界初 防爆エリアで使用可能な製品開発
- これから海外への展開に推進



ウェルキヤット

- Auto-ID事業をIDEC AUTO-ID SOLUTIONS(株)と統合的に推進
- 労働力不足解消のための自動認識技術と新技術の取込み
- 機器販売だけでなく、業務の課題解決までをワンストップ・ソリューションで提案





バーコード読み取りの
効力を増進

自動倉庫でのリスクを
低減

無人
フォークリフト
故障を検知する

オートリダグ片手に
作業を行うリスクを低減

カスタマイズ可能な検知用スイッチ 株式会社機械センター

<p>1</p> <p>衝突防止装置 パルプスイッチ SCシリーズ</p>	<p>2</p> <p>接触検知装置 エッジスイッチ Eシリーズ</p>
<p>3</p> <p>立ち入り検知装置 マットスイッチ MSシリーズ</p>	<p>4</p> <p>テープ状スイッチ テープスイッチ Tシリーズ</p>

倉庫管理をスムーズにするコードリーダー

<p>1</p> <p>ハンズフリーオペレーション ウェアラブルターミナル WITシリーズ</p>	<p>2</p> <p>バーコード読み取り ワイヤレスハンディターミナル XT-300シリーズ</p>
<p>3</p> <p>高速スキャン 小型固定式レーザーバーコードリーダー DS2100/NDS2400N</p>	<p>4</p> <p>ハンディスキャナ 産業用レーザー式ハンディバーコードリーダー PD9300/FBT9300シリーズ</p>

作業性を向上させる安全機器

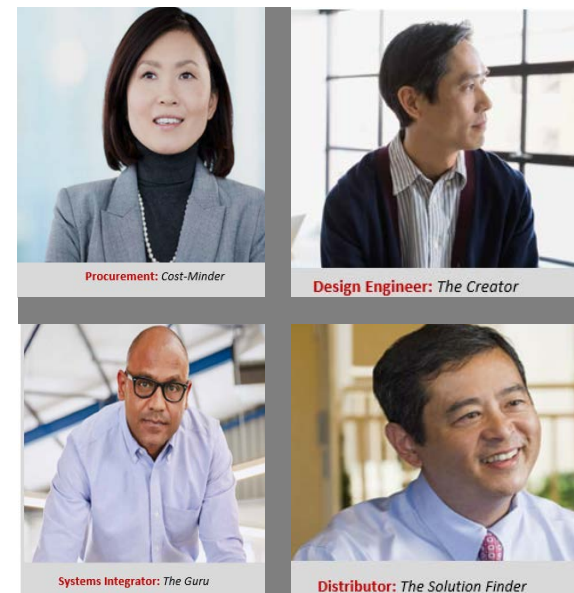
<p>1</p> <p>障害物検知 セーフティレーザスキャナ SE2L形</p>	<p>2</p> <p>インタロック装置 安全スイッチ HS5L形</p>	<p>3</p> <p>インタロック装置 安全スイッチ HS5E-K形</p>	<p>4</p> <p>安全回路構築 安全リレーモジュール HR1形/HR25形</p>	<p>5</p> <p>注意喚起 LED電圧表示灯 LD6A形</p>	<p>6</p> <p>ディージング ディージングペンダント HG1P形</p>	<p>7</p> <p>非常停止 非常停止付緊急停止スイッチ XW形/XN形</p>	<p>8</p> <p>表示・操作機 プログラマブル表示機 HG1G形</p>
---	--	--	---	--	---	---	--

日本	<ul style="list-style-type: none">■ APEM製品を順次にリリースして、7月にAPEM社特有の耐久性の高いタクトスイッチを発売予定■ 主要代理店でのAPEM製品在庫販売の体制確立■ 商談額4億円で、売上は順調に伸びている
欧州	<ul style="list-style-type: none">■ 欧州市場でのIDEC製品販売がスイッチを中心に 約34%増■ 今年から安全製品に力入れて(専任部隊、PR活動など)、積極拡販に■ デンマークに於ける基盤用スイッチの新規ライン2月に稼動
米州	<ul style="list-style-type: none">■ 新規代理店の活用、新規案件などのクロスセリング活動による商談額は3億円強■ IDECのHMI製品をAPEMの販路で今期の6月から販売開始■ ERP/CRM の共通化に向け開発中、9月までに完了予定
アジア	<ul style="list-style-type: none">■ IDECとAPEM販売組織統合済み■ IDECと中国での代理店を生かして、APEM製品の販売加速■ CRM の共通化予定

DMT

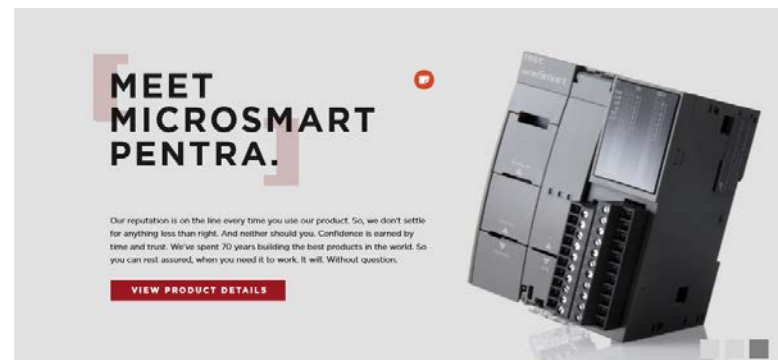
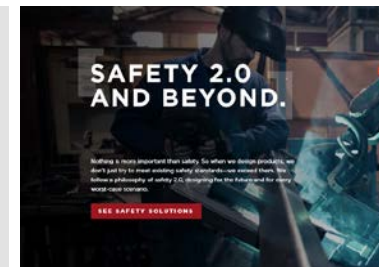
(Digital Marketing Transformation Project)

- 2018年にグローバルプロジェクトを発足
- IDECグループのデジタルマーケティングプラットフォームと統括組織をグローバルで統一しデジタルマーケティングのイノベーションを促進
- ソリューションや新規コンテンツの充実、サイト内検索の予知機能などの強化
- ユーザーのニーズに合わせたパーソナリゼーションの実現
- マーケティングオートメンションの導入
 - ユーザーのニーズに合わせたコンテンツ配信を実現



■ 導入スケジュール

- 北米 2019年10月
- 日本 2019年10月末
- 中国 2019年11月
- アジアパシフィック 2019年12月
- 欧州とグループ会社 2020年ー2021年



■ 3年後の狙い

- デジタルタッチポイントでのカスタマーエンゲージメントと50%増加
- デジタルマーケティングによる商談受注貢献度を全体の5%から8%まで増加

参考資料

地域別受注状況

単位: 百万円

	19.3月期 通期				18.3月期 通期	
	受注高	前年同期比	受注残高	前年同期比	受注高	受注残高
日本	30,376	93.5%	4,620	76.4%	32,495	6,050
米州	10,479	106.3%	1,615	114.0%	9,856	1,417
EMEA (欧州、中東、アフリカ)	11,903	108.6%	3,800	117.5%	10,957	3,234
アジア・ パシフィック	8,168	89.4%	1,650	52.4%	9,133	3,146
合計	60,928	97.6%	11,687	84.4%	62,442	13,848

2020年3月期 連結業績予想

(単位:百万円)

	20.3月期 予想	19.3月期 実績	前期比
HMIソリューション	28,300	29,685	△4.7%
盤内機器ソリューション	10,900	11,444	△4.8%
オートメーションソリューション	8,500	8,755	△2.9%
安全・防爆ソリューション	6,700	6,934	△3.4%
システム	3,100	3,276	△5.4%
その他	2,500	2,661	△6.1%
合 計	60,000	62,757	△4.4%
国内売上高	27,600	29,373	△6.0%
海外売上高	32,400	33,383	△2.9%
(海外比率)	(54.0%)	(53.2%)	



Think Automation and beyond...

予測に関する注意事項

本資料は情報提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。

本資料(業績計画を含む)は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその確実性・完全性に関する責任を負いません。ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願い致します。本資料の見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断により生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。